

【熊毛地区】

市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年11月28日（木） 18：30～20：10
- 2 場所 ゆめプラザ熊毛
- 3 参加者数 46名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎
副市長 青木 龍一
企画総務部長 住田 英昭
行政改革推進室長 久村 信幸
- 5 会議録

（熊毛 - 01：新庁舎建設の事業者選定）

Q) なぜ、国や他の公共団体で指名停止を受けた1社に限定して随意契約したのか。

市長) 当該事業者は正式な手続きの基に決定している。

企画総務部長) 当該事業者は、平成24年12月に他団体で指名停止処分を受けたが、本件契約はその前であり、本市の指名停止も受けていないので参加は可能。なお、選定は公募型プロポーザル方式の手続きで行っている。

（熊毛 - 02：新庁舎の位置）

Q) (仮称) 新徳山駅ビルの上を市庁舎にしてはどうか。

市長) 検討したが、土地が狭かった。土地の広さや交通の便など、総合的に考慮して現在地が最適と判断した。

（熊毛 - 03：市長公約）

Q) 新庁舎・(仮称) 新徳山駅ビルの話が出ているが、市長の公約は、一切、建物を作らないというものではなかったか。

市長) 私の公約は、選択と集中、行財政改革に取り組むというもの。一切、建物を作らないとは言っていない。

Q) 今後、建物をつくることで、一人あたりの税金は、どの程度上がるのか。

副市長) 地方税は法律や条例に基づいて課するもので、庁舎等の整備に伴い、増税することはない。

(熊毛 - 04 : 都市計画税)

Q) なぜ、熊毛地域に都市計画税を課税したのか。

市長) 都市計画区域に課税するルールに沿ったもの。公平・公正の観点で実施した。

(熊毛 - 05 : 合併後の行政サービス)

Q) 合併当初「サービスは高く、負担は低く」と言っていた。原点に戻って考えるべきではないか。

市長) 今、そして将来の市民のために、無駄な借金をしない、持続可能なまちづくりが必要。その強い覚悟の中で、公共施設の再配置にも取り組んでいるところである。

(熊毛 - 06 : 教育施設の耐震化)

Q) 庁舎建て替えよりも、学校の耐震化を先に進めるべき。

市長) 子どもの安心安全は絶対に守る。そのため、幼稚園や小・中学校の耐震化を、平成26・27年度で集中的に進める。

(熊毛 - 07 : 学校の統廃合)

Q) 私は、自分の子どもに、多くの児童の中で学んでほしいと考えている。熊毛地域の4つの小学校には、児童数が少ない学校もあることから、ひとつにまとめることを検討してほしい。

市長) いただいた意見は、教育委員会に伝える。

【教育政策課】

学校の適正規模・適正配置の方針に基づき、小学校の過小規模校は、原則として廃校とし、近隣の学校との統合を行うこととしている。また、小規模校は、校舎の改築時期等に、近隣の学校と合わせて適正配置を検討し、近隣の数校で通学区域の変更や統廃合に取り組むこととしている。熊毛地域は、八代小学校が過小規模校、三丘・高水・大河内小学校は小規模校となっており、過小規模校の適正配置から検討を進めることとしている。適性配置は、保護者や地域の皆さんと十分に協議し、共通理解と協力を得ながら進める。

(熊毛 - 08 : 鳥獣被害対策)

Q) 熊毛地域は、鳥獣被害が深刻。市として駆除隊の結成や、職員による狩猟免許取得に取り組んではどうか。また、下関市のように捕獲鳥獣の食肉を加工・販売することで、地域振興を図ってはどうか。

市長) 本年度より対策室を設け捕獲対策協議会と連携を図りながら駆除活動に取り組んでいる。いただいたご意見については、下関市をはじめ他市の取り組みを参考にしながら、今後の検討課題としたい。

(熊毛 - 09 : 一次産業への取り組み)

Q) 一次産業の就業者増にも取り組んでほしい。

市長) 一次産業は重要。今後、稼ぐ農林水産業が実現できるよう、取り組みたい。

(熊毛 - 10 : 行政サービスの提供)

Q) 三丘徳修館でも印鑑証明などを取れるようにしてほしい。

市長) 身近なところでサービスが提供できる方法を、ぜひ検討したい。

(熊毛 - 11 : 水素事業への取り組み)

Q) 市の水素の取り組みをテレビで見た。どのような状況か。

市長) 本市の副生水素発生量は全国有数。これを生かすために、今年、液化水素製造工場が稼働した。今後、国で燃料電池自動車の普及や水素ステーション設置の取り組みが加速することから、県と連携して同ステーション誘致、また、専門家・地元企業とともに利活用方法の検討を進めている。

(熊毛 - 12 : バスの利用促進)

Q) 関西では、65歳以上で一定の金額を払うと、バスが乗り放題になる制度があると聞いた。そういった事例があるなら検討してほしい。

市長) 公共交通を皆が活用する仕組みづくりが必要。全国の事例を集め、事業者とも相談する中で検討したい。

(熊毛 - 13 : 熊毛地区水道基盤整備事業)

Q) 安心安全な水を届けるということで、8月に市の説明会が三丘徳修館であった。その際、今秋にアンケートを実施して優先順位を検討すると聞いたが、どうなっているのか。また、説明会に出席していない人は、アンケートに答えることが難しいので、現場を見て、意見を聞きながら進めてほしい。今後、いつ、どうするのか、総合支所長を通じて回答がほしい。

市長) やる以上はしっかりと説明をしたい。状況を確認し、総合支所長から報告する。

【熊毛・産業土木課】

アンケートは、1月から2月にかけて実施。説明会に出席できなかった方のため、アンケートには熊毛地区水道事業の資料を添付する。

(熊毛 - 14 : 将来の市民負担)

Q) ハコモノも必要なものは作るべき。しかしながら、次の世代に負担を残さないようにしてほしい。

市長) 次の世代への負担は少しでも軽くする。そのため、今後も選択と集中に取り組む。

要約一覧

熊毛地区

| 管理 NO | 内容 | 担当 | | | 質問 | 回答 |
|-------|-------------|-------|---------|-----|---|---|
| 熊毛-01 | 新庁舎建設の事業者選定 | 総務課 | | | 庁舎建設について、なぜ、国や他の公共団体で指名停止を受けた1社と随意契約したのか。 | 当該事業者は正式な手続きの基に決定している。 |
| 熊毛-02 | 新庁舎の位置 | 総務課 | | | 徳山駅ビルの上を市庁舎にしてはどうか。 | 土地の広さや交通の便など、総合的に考慮して現在地が最適と判断した。 |
| 熊毛-03 | 市長公約 | 政策企画課 | 課税課 | | 新庁舎・新駅ビルの話が出ているが、市長の公約は、一切、建物を作らないではなかったか。 | 公約では、選択と集中、行財政改革に取り組むというもので、一切、建物を作らないとは言っていない。 |
| | | | | | 建物建設で、一人あたりの税金はどの程度上がるのか。 | 税は法律・条例に基づいて課するもので、庁舎等の整備による増税はない。 |
| 熊毛-04 | 都市計画税 | 課税課 | | | なぜ、熊毛地域に都市計画税を課税したのか。 | 課税するルールに沿ったもので、公平・公正の観点で実施した。 |
| 熊毛-05 | 合併後の行政サービス | 政策企画課 | 行政改革推進室 | 財務課 | 合併当初「サービスは高く、負担は低く」と言っていたが、原点に戻って考えるべきでは。 | 今、そして将来の市民のために、無駄な借金をしない、持続可能なまちづくりが必要。 |
| 熊毛-06 | 教育施設の耐震化 | 教育政策課 | | | 庁舎建て替えよりも、学校の耐震化を先に進めるべき。 | 子どもの安心・安全は絶対に守る。幼稚園や小・中学校の耐震化を、平成26・27年度で集中的に進める。 |
| 熊毛-07 | 学校の統廃合 | 教育政策課 | | | 熊毛地域の4つの小学校には、児童数が少ない学校もある。ひとつにまとめることを、検討してほしい。 | 意見を教育委員会に伝える。 【後日、担当課回答】 まずは、過小規模校の八代小学校について適正配置の検討を進めることとしている。適性配置は、保護者や地域住民と十分協議し、共通理解と協力を得ながら進める。 |

| 管理 NO | 内容 | 担当 | | 質問 | 回答 |
|-------|--------------|-----------|----------|---|--|
| 熊毛-08 | 鳥獣被害対策 | 農林課 | | 鳥獣被害が深刻。市として駆除隊の結成や、職員による狩猟免許取得に取り組んではどうか。また、捕獲鳥獣の食肉を加工・販売し、地域振興を図ってはどうか。 | 本年度より対策室を設け捕獲対策協議会と連携を図りながら駆除活動に取り組んでいる。いただいたご意見については、下関市をはじめ他市の取り組みを参考にしながら、今後の検討課題としたい。 |
| 熊毛-09 | 一次産業への取り組み | 農林課 | | 一次産業の就業者増にも取り組んでほしい。 | 稼ぐ農林水産業が実現できるよう、取り組みたい。 |
| 熊毛-10 | 行政サービスの提供 | コミュニティ推進課 | 市民課 | 三丘徳修館でも印鑑証明などを取れるようにしてほしい。 | 身近な所でサービスが提供できる方法を検討したい。 |
| 熊毛-11 | 水素事業への取り組み | 商工振興課 | | 市の水素事業の取り組みは、どのような状況か。 | 国・県と連携して水素ステーション誘致、また、専門家・地元企業とともに利活用方法の検討を進めている。 |
| 熊毛-12 | バスの利用促進 | 生活安全課 | | 65歳以上で一定の金額を払うと、バスが乗り放題になるよう検討してほしい。 | 全国の事例を集め、事業者とも相談する中で検討したい。 |
| 熊毛-13 | 熊毛地区水道基盤整備事業 | 環境政策課 | 熊毛・産業土木課 | 熊毛地区水道基盤整備事業について、アンケートや説明をしっかりとしてほしい。 | やる以上はしっかりと説明する。状況を確認し、総合支所長から報告する。 【後日、担当課回答】 アンケートは、1月から2月にかけて実施。説明会に出席できなかった方のため、アンケートには熊毛地区水道事業の資料を添付する。 |
| 熊毛-14 | 将来の市民負担 | 行政改革推進室 | 財務課 | ハコモノも必要なものは作るべきだが、次の世代に負担を残さないようにしてほしい。 | 次の世代への負担は少しでも軽くするため、今後も選択と集中に取り組む。 |